

注射薬の取り扱い

病院で投与を受ける際は、病院スタッフがしっかりとした対策を行っていますので、患者さんやご家族は特に気を付けることはありません。

ここでは、

**「携帯型持続注入ポンプ(例：インフューザーポンプなど)」を
使用する患者さん向け**にご説明します。



このポンプは、患者さん自身が長時間携帯する必要がありますので、破損しないように十分に注意してください。

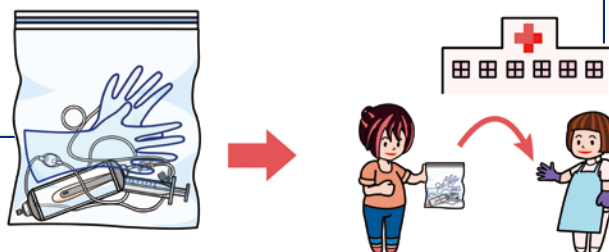
万が一、液漏れや内部の破損が見つかった場合は、速やかに通院中の医療機関に連絡してください。

液漏れに気づいた場合、決して素手で触れないでください。

詳細は別冊子の「こぼれた場合など、
掃除をする時の工夫」を参照してください。



- ご自宅でポンプの投与が終了したら、使い捨てのビニール手袋を着用して医療機関から指導された方法で針を抜く。
- 投与済のポンプや使用した物品はすべてビニール袋に入れて密封し、廃棄方法は各医療機関の指示に従う。
- 家庭ごみには廃棄しないでください。



この冊子は治療を受ける皆さまに少しでもお役に立てますよう作成しています。
この冊子にある情報は2022年4月1日現在の国内外のガイドライン等に基づくものです。
本著作物に関する権利はすべて日本ベクトン・ディッキンソン株式会社が保有します。
本著作物の一部またはすべてを無断で複写・複製・転載・改変または流布することを禁じます。

©2022 BD. BD and the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company.

26-121-00 2022.09 (BDJ-1435)

